

令和7年度 特別の教育課程（書道科）の実施状況等について

春日井市立神領小学校

1. 本校の教育目標

たくましく生きる子

- じょうぶな子（健康）
- よく考える子（自主・創造）
- 仲よくする子（協同）
- きまりを守る子（責任）
- 学校をだいじにする子（郷土愛）

2. 特別の教育課程の内容

（1）特別の教育課程の概要

小学校第1～6学年において「書道科」を設ける。第1学年は、国語を30時間、生活科を4時間削減して、第2学年は、国語を30時間、生活科を5時間削減して書道科に充てる。第3～6学年は、国語を30時間、総合的な学習の時間を5時間削減して書道科に充てる。「書道科」において、書を書くという具体的な活動を通し、友だちと触れ合ったり、家庭生活での話題をもたらしたり、地域の人々とのかかわりを生んだりする。そこから、集団の中での自分の役割や行動の仕方を考えさせるとともに、「書のまち」に生きるよさと愛着をもたせる。

また「書道」という伝統文化や「書のまち」を発信する地域の特性を探究する活動にも取り組むことを通して、表現力の向上と向上心の伸長を図るとともに、日本古来の文化や自分の生活する地域を振り返りながら自己の生き方をも考えさせる。

（2）特例の適用期間

平成28年4月1日～令和11年3月31日

（3）実施学年

1年、2年、3年、4年、5年、6年、（特別支援学級 単独でも実施）

（4）地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は、三蹟のひとり小野道風の生誕の地と言われており、全国的にも数少ない書専門の美術館小野道風記念館を有し「書のまち春日井」として、書道の普及発展に力を入れている。

書道は「文字を正しく整えて書く」ことにおいて、従前から行われてきた国語科における書写の目的に共通するが、その文化・芸術性及び精神性においては、書写とは一線を引くものである。現在、児童の「表現力の向上」「心の教育の充実」などが重要な教育課題であると認識している。それらを解決するため、前述した地域性や学校の特色、さらには書道の特性を活かした「書道科」を設け、表現力の向上を目指すとともに、よりよい作品をつくりあげようとする向上心、つくりあげた達成感から得られる自尊感情、相互評価などの他者との関わりから得られる親切心や規範意識等、特に心の充実を図りたいと考える。また、同時に郷土愛についても、書道を通して「書のまち春日井」に根ざして生活している自覚を促し、育していく。

(5) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

2に記載する特別の教育課程について、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、春日井市教育委員会において確認済。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する評価

(1) 評価の観点

- ① 特別の教育課程の編成・実施により、学校の教育目標が十全に達成されているか
- ② 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標が十全に達成されているか

(2) 自己評価

児童	<ul style="list-style-type: none">・ 筆を使って文字を書くことが、とても楽しい。・ 「とめ・はね・はらい」の基本や、強弱などの筆遣いに気をつけて、上手に書けるようになった。・ 緊張しながら、一画一画を大切にし、丁寧に文字と向き合うことができていた。・ 最初は準備に時間がかかっていたけれど、だんだん早く準備ができるようになった。
教員	<ul style="list-style-type: none">・ 講師による専門的な指導により、児童は終始意欲的に取り組むことができた。また、教員自身も指導法について学ぶ点が多く、大変有意義な時間となつた。・ 全紙に取り組むなど、日常の授業ではなかなかできない、貴重な経験をさせていただいた。・ 児童の実態に即したきめ細やかなご指導のおかげで、子どもたちが楽しみながら前向きに学習に励む姿が見られた。
保護者	<ul style="list-style-type: none">・ 集中して文字を書くことは良い機会となっている。・ 専門的な指導をしていただける機会はとても貴重である。・ 何枚も練習し、文字が整い上達したように感じる。

(3) 学校関係者評価

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 子どもたちが一字一字を意識しながら書く姿が見られ、練習を重ねるごとに文字が美しく整っていく過程を実感することができた。・ 日常生活で毛筆に親しむ機会が少なくなっている今日、専門の講師による質の高い指導を受けられることは、書道の楽しさを味わうだけでなく、文字に対する敬意や関心を育む素晴らしい機会となっている。 |
|---|